

Public Relations 広報いちのへ

Ichinohe 5

May 2026 No.766

◎COVER

ちいさな署長のおおきな役目

1日警察署長を務めた宇部虹亮^{にじろう}さん。元気いっぱいに交通安全を呼びかけました（関連：3頁）。



皆さんの地域や職場の話題などありましたら、広報担当 ☎ 33-4851（内線 1212）までお気軽にご連絡ください。

まちな話 話題

町 いちのへふるさと PR 大使の魅力を発信する

町の各小中学校の児童生徒が修学旅行先などで町の魅力を発信する『いちのへふるさと PR 大使』。奥中山中学校では 4 月 7 日に任命式が行われ、3 年生 14 人が参加。小野寺町長から任命書が交付されました。

任命を受けた駒木愛奈さんは「町や奥中山地区の魅力を伝え、多くの人に町を訪れてもらえるように PR したい」と意気込みを語りました。



任命書を受け取る生徒代表の坂本晃乙さん

共 図書館からエコバッグ贈呈に、健やかに

4 月 17 日に子育て広場『のびのび』で、図書館から赤ちゃんへエコバッグが贈呈されました。

猪股滯さん（女鹿）は「ママ友達がほしいと思い、イベントに参加した。エコバッグは、普段の買い物に使いたい」と語りました。

エコバッグ贈呈後は、絵本の読み聞かせが行われ、赤ちゃんは目を輝かせながらお話を聞いていました。



エコバッグを受け取った親子のみなさんとデザイナーの柴田さん

地 3 年間交通死亡事故抑止賞賛伝達道にコツコツと

3 年間交通死亡事故抑止賞賛状伝達が 4 月 3 日に行われ、関係者 5 名が参加しました。

48 年間交通安全運動を続けている、交通指導隊の松田豊さん（元諏訪野）は「町民のみなさんの心がけのおかげ」と感謝を口にし、「交通安全に休みはない」と決意を胸に、力強く交通安全の大切さを呼びかけました。



3 年間交通死亡事故抑止賞賛伝達に参加した関係者の皆さん

交 ちびっこ一日警察署長交通安全の大事なお約束

一戸子供の家保育園の宇都虹亮さん（5 歳）が 4 月 14 日、ちびっこ一日警察署長に任命され、同園とじょうもんの里こども園、二戸警察署を訪問しました。

二戸警察署で任命を受けた虹亮さんは「一戸の友達に交通安全を呼びかけます」と意気込みました。その後、訪れた両園でたくさんのお友達に交通安全を呼び掛けました。



ちびっこ一日署長に任命された虹亮さん

岩手広告美術展 一般ポスターの部

岩手広告美術賞 岩手県商工会連合会長賞

『今、行くべきところ盛岡 (A) ~ (C)』

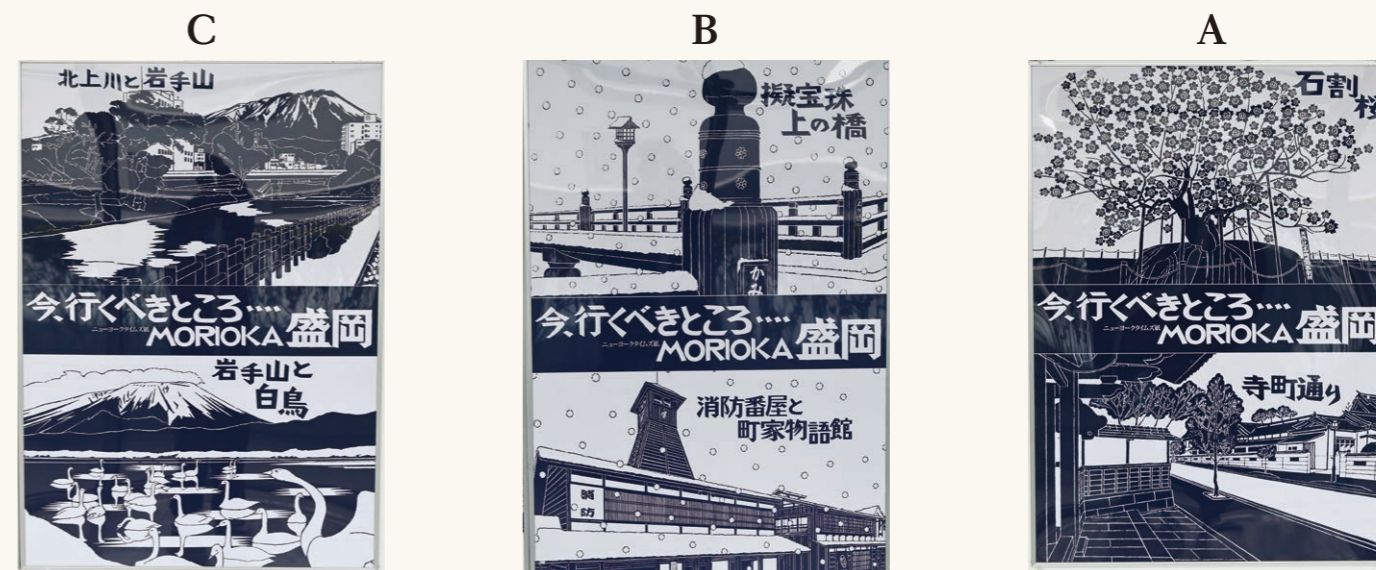


柴田 外男さん (中山)

第 57 回岩手広告美術展一般ポスターの部で、柴田外男さんが岩手広告美術賞、県商工会連合会長賞を受賞しました。受賞作品は、盛岡の観光名所が版画風のモノトーンのイラストで力強く描かれており、一目見ただけで現地の情景が思い浮かぶ作品となっています。

柴田さんは「時間はかかったが、作品はすべて手書きで完成させた。色使いにもこだわったのでそこに注目してほしい。手書きならではの良さを感じてほしい。」と笑顔を見せました。

【受賞作品】



Contents 目次

- 2 表彰～各分野で喜びの声～
- 3 まちな話
いちのへふるさと PR 大使任命式／ちびっこ一日警察署長／図書館エコバッグ贈呈
- 4 町のお知らせと情報
- 6 地域協働
- 8 保健だより
- 9 北校高校の魅力を紹介
「#校陵」
- 10 文化・文芸・スポーツ
御所野縄文博物館／運動公園／コミセン＆図書館通信
- 12 いちのへまちめぐりミュージアム／文芸／こちら町長室／おたより／広報クイズ
- 14 お知らせ
- 16 デイグレ！一戸町／編集後記

参加チーム大募集！ 第42回総合スポーツ大会『モルック競技』

募集

生涯学習・協働推進課 ☎ 33-4861 内線 1512

本年度の総合スポーツ大会 1 回目の種目として『モルック』を行います。モルックは、フィンランド発祥のスポーツでルールも簡単なため、老若男女問わず楽しむことができます。

本大会には、地区単位のチーム編成に加え、地区内外にかかわらず任意グループでのチーム編成でも申し込みできます。

未経験者でも簡単にできる競技で、年齢制限も設けません。友だちや職場の仲間、ご近所さんなどを誘って気軽に参加してみませんか。

■日時 6月20日(土) 9:00～13:00(受付8:30)

■場所 町総合運動公園(テニスコート上の芝生)
※雨天時：屋内ゲートボール場

■対象

1 チーム3～6人で編成し、町内在住・在勤・在学者を半数以上含むこと。

地区単位で編成した場合は、総合得点を配点し、全4競技の総合得点1位の地区を町文化スポーツ表彰式で表彰します。

■申込方法

町ホームページから申込書をダウンロードし記入のうえ、6月5日(金)までに問い合わせ先に提出してください。

※メール (shogai@town.ichinohe.iwate.jp) または FAX (32-2001) での提出も可能です。



ホームページ

人材不足の解消と人材育成の取り組みに対して 補助金を交付します

お知らせ

商工観光課 ☎ 33-4855 内線 1262

人材不足の解消と人材育成のため、企業自らが率先して行おうとする取組に対して補助金の交付を行います。詳しくは町ホームページをご覧ください。

■対象者

- ・町内に事務所、店舗または工場を有していること
- ・町税の滞納がないこと など

■対象事業

①人材確保支援

ア：就職関連イベントなど出展費の補助

就職関連イベント等への出展にかかる費用の一部を補助(出展費、旅費、消耗品費)

イ：企業PRの取組に対する補助

企業PR活動にかかる費用の一部を補助(印刷製本費、消耗品費、委託費)

ウ：旅費の補助

就職活動およびアパート探しのための交通費の一部を補助(旅費)

エ：求人サイトおよび求人誌の掲載費用の補助

求人掲載にかかる費用の一部を補助(広告宣伝費)

②人材育成支援

オ：研修費用の補助

外部講師による社内研修や外部機関が実施

する研修等の受講にかかる費用の一部を補助(謝金、旅費、研修費)

■補助率

- ・ア、イ：補助対象経費の3分の2
- ・ウ、エ、オ：補助対象経費の2分の1

■補助額

補助金上限 30万円

■補助申請期限

令和9年3月上旬まで
※令和9年3月末までに事業を完了する必要があります

■申込方法

下記の必要書類を問い合わせ先へ提出してください。(※)は町ホームページからダウンロードできます。

- ・一戸町企業支援事業費補助金交付申請書(様式第1号)(※)
- ・事業計画書、収支予算書
- ・事業内容が分かる資料(イベントや研修会などのチラシ、求人誌や求人サイトの内容が分かる資料など)
- ・補助金額の算出根拠となる資料(見積書など)



ホームページ

森林の伐採や開発には 手続きが必要です。

お知らせ

農林課 林業振興係 ☎ 33-4854 内線 1271

森林を伐採、開発する際は、事前に届け出や許可申請の各種手続きが必要です。



ホームページ

森林の伐採や開発の計画がある場合は、問い合わせ先に相談してください。

■問い合わせ先

- ・保安林以外の森林で立木を伐採する場合
→農林課 林業振興係
☎ 33-4854 内線 1271
- ・保安林における立木の伐採や土地の形質の変更、または保安林以外の森林における1ha(太陽光発電設備の設置を目的とした開発行為は0.5ha)を超える開発行為の場合
→県北広域振興局農政部二戸農林振興センター林務室
☎ 0195-26-8023

住民と行政のつなぎ役 行政に関する相談は行政相談委員へ

相談

町民課 ☎ 33-4858 内線 1128

町を担当区域とする行政相談委員に佐藤一成さんが総務大臣から委嘱されています。

行政相談委員は、総務大臣が委嘱した民間有識者で無報酬のボランティアとして、国の行政活動全般に関する相談等を受け付け、相談者への助言や関係機関に対する改善の申し入れなどを行っています。

相談は無料で、秘密は守られます。

■相談先

佐藤 一成
☎ 32-2666(廣全寺)



新たに2人の移住コーディネーターを委嘱 それぞれの視点で町の魅力を発信

お知らせ

政策企画課 ☎ 33-4851 内線 1213

移住コーディネーターの主な活動は、SNSによる情報発信や、空き家、求人、イベントなどの情報収集、移住検討者からの相談対応などです。

昨年度に引き続き再任となった本江創さん、南館範和さん、富田和美さんに加え、本年度は新たに吉田頌太さん、山館湧真さんが委嘱を受け、5人で活動します。



吉田 頌太さん(左)

盛岡市出身。令和元年に町に移住。現在は一般社団法人いちのへ観光公社に勤務し、地域の魅力発信に携わっています。「移住者の目線で感じた町の魅力を多くの人に伝えたい。一人でも多くの移住希望者に情報が届くよう頑張りたい」と意気込みます。趣味は読書で、萬代館のレトロな雰囲気がお気に入り。

山館 湧真さん(右)

奥中山出身。昨年度末まで町地域おこし協力隊として活動する中で、町外の人に町に興味をもってもらいたい、町の魅力を知ってもらいたいという思いが生まれ、移住コーディネーターに。「町外との交流を増やし、町の魅力をさらに伝えたい」と熱を込めます。

高森高原から見える広い空がお気に入り。

地域協働

それぞれの「地域づくり」に向けた

町では、地域のニーズや現状に応じた協働を進めることで、町民一人ひとりにとって住みやすいまちづくりを目指しています。協働を進めるための支援制度について説明します。

生涯学習・協働推進課 ☎ 33・4861 内線1516



ホームページ

地域と行政とのパイプ役として、地域からの要望を受けて活動します。各地域に配置された地域担当職員は、地域づくりの主役である地域の皆さんと一緒に課題や問題を探り、解決に向けた支援・調整をするほか、町からの情報提供も行います。町内会ごとに年間6万円の活動補助を受けることができます。

地域担当職員は地域における会議などに積極的に参加し、求めに応じて地域と連携し、下記の活動を行います。

- ①地域の課題や問題点の解決に向けた相談窓口
- ②町政への要請を把握し、担当課へ取り次ぐ
- ③地域のできる事業などの紹介と助言
- ④町が実施する行事などの周知
- ⑤地域の中長期的な取組活動計画の策定・実施の支援

※以下は、地域担当職員の役割としません。

- ・個人的な要望や苦情などの処理、隣近所の争議解決
- ・冠婚葬祭の手伝い、自治会の事務局や会計などの庶務（地域住民として引き受ける場合を除く）

請求書のみの支払いとなります。活用したいときは必ず、事前に地域担当職員または生涯学習・協働推進課に相談してください。相談前に地域の人が購入した場合は制度の対象となりませんので注意してください。

元気なまちづくり事業は、地域づくりを支援するための補助事業です。地域の活性化と自立につながるための活動に対し補助金を交付します。

補助対象となる団体は、自治会など（地域担当職員を配置している自治会と地域づくり団体）、各種団体（町内のボランティア団体やその他団体）です。

イベントや地域内の清掃活動など事業の内容に応じて3分の2から10分の10までの割合で補助します。複数の事業を申請することもできますが、一団体当たりの年間補助上限額は、自治会など30万円、各種団体20万円です。詳細は電話で問い合わせるか、町ホームページを確認してください。



◎地域担当職員とは

地域担当職員の活動

予算の活用方法

年間6万円

◎元気なまちづくり事業とは

補助内容

◎印はグループ長

自治会・自治公民館	地域担当職員（所属課）
八木沢町内会 川原田町内会 舌崎町内会 滝ノ沢町内会 過利石町内会 中野野月町内会	◎柴田 忠幸（奥中山地区センター） 齋 香織（総務課） 柴田 秀昭（上下水道課） 田村 ひかる（地域包括支援センター） 内澤 紫（総務課） 中田 昶旺（生涯学習・協働推進課） 佐藤 遥（こどもえがお課）
沢田行政区 田中部落会 子守町内会 地切部落振興会 根反自治公民館	◎野崎 貞春（健康づくり課） 地切 一彦（上下水道課） 田中 桂介（町民課） 澤久保 真弘（町民課） 古館 航太（商工観光課） 鈴木 絵梨奈（総務課） 阿部 ひかる（こどもえがお課） 澤村 智美（農林課）
川又部落会 小姓堂行政区 野中町内会 穴久保町内会（1・2班） 穴久保第5班自治会 野里町内会 中屋敷町内会 下仁昌寺町内会 上仁昌寺町内会 稻荷中村地区自治会 道地・駒木町内会 高屋敷町内会	◎上里 透（地域整備課） 野村 源幸（小鳥谷地区センター） 清水 栄二（地域整備課） 小寺 学（総務課） 赤平 武毅（こどもえがお課） 松本 奈緒子（上下水道課） 馬林 文弥（農林課） 蛇沼 孝乃信（税務会計課） 田村 千明（こどもえがお課） 愛木 稔幸（上下水道課） 田中 克樹（地域包括支援センター） 上村 夏空（学校教育課）
平糠自治振興会 大志田部落会 田中火行地区振興会	◎村中 昭一（学校教育課） 滝澤 福子（こどもえがお課） 石嶋 義昭（生涯学習・協働推進課） 菅野 紀子（世界遺産課） 中渡 礼（健康づくり課） 高井澤 真光（地域整備課） 海外 由佳（学校教育課） 齋藤 陽奈（商工観光課）
田子自治公民館 小繋宮農組合	◎西館 満弥（農林課） 昆 広都史（地域包括支援センター） 大道 一馬（上下水道課）
姉帯1行政区 姉帯中央自治会 下村・上里町内会 名子根自治会 面岸地区振興会	◎中村 秀樹（町民課） 滝澤 修身（農業委員会事務局） 荒川 真人（地域整備課） 小寺 澪奈（健康づくり課） 田頭 圭太（地域整備課） 瀧澤 優香（学校教育課） 安ヶ平 陽大（政策企画課） 小倉 弥祿（税務会計課）
旧中山部落会 釜石部落会	◎武田 昭彦（政策企画課） 田村 亨太（農林課） 井戸 優空（総務課）
奥中山第一地区自治会 下部落会 奥中山2行政区 奥中山3行政区 軽井沢行政区	◎中島 恭伸（学校教育課） 松尾 暢（こどもえがお課） 猪股 成介（生涯学習・協働推進課） 北館 智摘（生涯学習・協働推進課） 細川 陽菜（町民課）
奥中山第4地区町内会（東） 奥中山第4地区町内会（西） 青葉日蓄地区公民館 岳川町内会 豊ヶ岡行政区 袖ヶ沢自治公民館	◎中村 明央（世界遺産課） 久保 亜希子（福祉課） 工藤 直幸（農林課） 山本 由佳（政策企画課） 及川 彩（健康づくり課） 上野 佳奈恵（福祉課） 平井 真央（町民課）
摺糠自治公民館 宇別振興会	◎福田 栄樹（世界遺産課） 菅原 将（道の駅事業推進室） 佐々木 陸（生涯学習・協働推進課） 久保 飛雅（町民課）

※地域担当職員に連絡するときは各所属に連絡してください。

◎地域担当職員の一覧

自治会・自治公民館	地域担当職員（所属課）
越田橋町内会 八幡町町内会 小井田町内会 下町町内会 横町町内会 中町町内会	◎山田 晃（農林課） 田中 明美（監査委員事務局） 久保田 太一（御所野縄文公園） 松田 景子（こどもえがお課） 鈴木 麻矢（総務課） 畑中 明日香（生涯学習・協働推進課） 柴田 千夏（こどもえがお課）
上町町内会 北館町内会 袋町町内会	◎栗橋 泰彦（総務課） 湊 尚美（上下水道課） 磯嶋 邦彦（福祉課） 大道 祥太（農林課）
野田坂町内会 野田町内会 中道町内会 永代町町内会	◎和多田 克行（福祉課） 一野辺 資彦（税務会計課） 中村 誠（総務課） 西野 久美子（健康づくり課） 山火 碧弓（世界遺産課）
向町町内会 中田町内会 樋ノ口町内会 小滝行政区	◎東澤 信幸（政策企画課） 樋口 圭輔（地域整備課） 田村 幸久（政策企画課） 北館 卓海（政策企画課） 田村 凜太郎（農林課）
西法寺町内会 稲荷町内会 駅前町内会 諏訪野町内会 元諏訪野町内会 関屋町内会 女鹿口行政区	◎地切 るり子（健康づくり課） 田中 由紀子（税務会計課） 荒屋敷 雅章（総務課） 遠藤 真吾（学校教育課） 松田 廉（税務会計課） 杉澤 美佳（税務会計課） 藤原 彩（一戸地区センター） 一ノ渡 智亮（税務会計課）
女鹿館町内会 女鹿行政区 上女鹿1行政区 上女鹿2行政区 蛇ノ島行政区	◎田中 猛（商工観光課） 大久保 繁（町民課） 西村 美香（奥中山地区センター） 平 幸祐（政策企画課） 澤内 拓実（農林課） 吉田 萌（議会事務局）
上小友公民館 小友1行政区 坂ノ下町内会 半在家行政区 下小友行政区	◎山井 英智（上下水道課） 藤井 啓明（税務会計課） 猪久保 俊介（選挙管理委員会事務局） 千葉 愛夏（福祉課） 佐々木 翔（こどもえがお課） 奥 昇大（福祉課） 阿部 耕作（地域整備課）
中里振興会	◎佐藤 代和（議会事務局） 田中 光弘（農林課） 田中 泰士（学校教育課） 田村 肇（総務課）
月館自治公民館	◎清川 誠幸（生涯学習・協働推進課） 塚野 小知枝（町民課） 宮守 努（商工観光課） 三角 恵美（税務会計課） 柴田 雄樹（商工観光課）
岩清水自治会 出ル町地区振興連絡協議会	◎土屋 邦雄（鳥海地区センター） 田中 淳（地域包括支援センター） 木戸 法久（学校教育課） 石倉 徹（商工観光課） 下村 鷹也（政策企画課）
下楯山部落会 双畑部落会 来田地区振興会	◎常前 昌浩（上下水道課） 来田 忍（地域整備課） 樋口 智佳（健康づくり課） 片野 優子（町民課） 下村 祐太（農林課） 日影 直也（政策企画課）



北桜高校の最新情報は
こちらからチェック

北桜高校の魅力と旬な情報を発信！

#桜陵



北桜高校の星



今年北桜高校に新入生代表として入学した泉久保さん。これからの学校生活に向けた意気込みや目標を聞きました。



- 北桜高校に入学した理由は？
多くの系列があり、将来に向けた選択肢がたくさんあったからです。
- 部活動で頑張りたいことは？
卓球部に所属しています。地区高総体があるので、シングルとダブルスで県大会出場できるように頑張ります。
- 1年間の目標は何ですか？
いろいろなことに挑戦して、将来の進路を決めたいと思います。

話題 Topics

伝 統をつなぐ 一戸まつり事前学習会

4月23日、全校生徒に向けた一戸まつり事前学習会が行われました。講師を担当した坂本雄偉さん、町地域おこし協力隊のルアンさんは一戸まつりの歴史や意義、盛岡の祭りとの違いなどを伝え、生徒たちは一戸まつりへの理解を深めました。

学習会では、スライド資料に加え、山車に使用される飾りや衣装といった実物も紹介されました。また、音頭上げも披露され、生徒たちは聴き入っていました。

参加した生徒は、「山車の種類や作り方など今まで知らなかった細かいところを知ることができ、面白かった」と語りました。



一戸まつりの衣装の説明を聞く生徒たち

新 入生オリエンテーション サトマンと校歌コラボ

4月10日、新入生61人は新入生オリエンテーションで在校生に迎えられ、高校生活を本格的にスタートさせました。

校歌を制作した SaToMansion の佐藤和夫さん(一戸高出身)がサプライズライブを開き、自身が作詞作曲した校歌を熱唱しました。新入生オリエンテーション中に登場した佐藤さんは、ギター1本で弾き語りをし、生徒も一緒に歌い、新入生の入学を歓迎しました。

1年生は、「生演奏が聴けるとは思っていなかったの、生演奏と歌声に感動した。これから校歌を歌うのが楽しみ」と笑顔を見せました。



インタビューを受ける佐藤さん(左)

総合保健福祉センター

#ちょっと健診行ってくる 未来の私の元気のために 『子宮頸がん・乳がん検診』

子宮頸がんは近年、20代や30代の若年層で増加傾向にあり、若い女性の妊娠や出産の可能性を奪うがんです。乳がんは、40歳以上の女性が罹患するがんの中で一番多いがんです。

どちらも初期には症状がほとんどなく、自覚症状が現れるころには病

状が進行していることが少なくありません。

●大切なのは「早期発見」

症状が出てからでは、治療による回復ができない場合が多くなります。

子宮頸がんも乳がんも、無症状のうちに、定期的に検診を受け、早期発見することが大切です。

がんが見つかるのが怖いという人もいるかもしれませんが、「検診で何か見つかったらラッキー」と考え、対象年齢の皆さんは検診の機会を逃さず受診をしましょう。

町では、5月11日から子宮頸がん・乳がん検診を行います。

日程などの詳細は、健康づくり課(☎ 32-3700)までお問い合わせいただく、もしくはホームページなどをご覧ください。

●HPV ワクチンによる予防も

子宮頸がんの有効な予防法に、HPV ワクチンの接種があります。

対象となる小学6年生から高校1年生相当の女性には、4月中にお知らせをお届けしています。ご確認いただき、忘れずに接種をお願いします。

地域包括支援センター

地域包括支援センターについて紹介します！

総合保健福祉センター内に設置されている地域包括支援センターは、高齢者のみなさんが住み慣れた地域で、自分らしい生活を続けられるように、介護・福祉・保健・医療など、さまざまな面で支援を行うための総合相談機関です。

様々な相談に乗れるよう、保健師・

主任介護支援専門員・社会福祉士といった専門職が連携し業務にあたっています。

■具体的な業務内容

①総合相談支援

介護に関すること以外にも、健康や福祉、医療や生活、認知症に関することなどの相談に広く応じています。

②介護予防支援

高齢になっても自立した生活が維持できるよう、介護予防サービスの利用について相談・支援を行っています。

③権利擁護

判断能力の低下等から、財産や金銭管理が不安な方への相談に応じたり、支援機関への紹介などをします。また、高齢者虐待についての相談窓口でもあります。

④地域のネットワーク強化と活用

町内の介護支援専門員への支援や助言を行っています。

地域包括支援センターは高齢者の人だけでなく、そのご家族・近所にお住まいのみなさんの相談も受け付けています。

★保育施設開放 ※要予約 5月12日(火) 10:00～11:00

- いちのへじょうもの里こども園 ☎ 32-2220
- 奥中山みどりの森こども園 ☎ 35-2319
- 小鳥谷ふじの花こども園 ☎ 34-2524

★子育て支援ひろばのびのび

- 平日の⑧・⑨・⑩ 9:30～14:30
- ☎ 32-3770 ※ (旧一戸幼稚園)

★るんだるんだ ※要予約

- 平日の⑧・⑨ (祝日を除く) 9:30～12:00
- ☎ 35-2314 ※ (奥中山学園内)

シルリハー戸えがの会 町地域包括支援センター ☎ 32-3700

- 日時 6月5日(金)、19日(金) 10:00～11:00

- 場所 いちぽら+ (旧一戸幼稚園) ■持ち物 タオル、飲み物

オレンジカフェさくらの会 町社会福祉協議会 ☎ 33-3385

- ・■日時 5月23日(土) 10:00～12:00

- 場所 小鳥谷駅 ■参加費 100円

- ・■日時 6月13日(土) 10:00～12:00

- 場所 町コミュニティセンター ■参加費 100円

わわわのどおーも & ぶらぶららいぶらりい

〒028-5312 一戸字砂森 117-2
 コミセン▷ <https://ichi-culture.jp/> ☎ 31-1400 FAX 31-1888
 図書館▷ <https://ichinohe-lib.sakura.ne.jp/> ☎ 43-3555 FAX 43-3310

① 絵画教室作品展を開催します

町コミュニティセンターでは毎月2回、一戸町文化協会美術部会による『絵画教室』を開催しております。本展示会では、その参加者による色彩豊かな作品を展示します。

- 期間 5月13日(水)～26日(火)
平日：9:00～19:00 土日祝：9:00～18:00
- 場所 町コミュニティセンターロビー
☎町コミュニティセンター

② 地域おこし事業『図書館フィールドワーク in 西方寺毘沙門堂』を開催します

西方寺毘沙門堂周辺のフィールドワークを行います。コミュニティセンターから徒歩で散策します。

- 日時 5月31日(日) 9:00～13:30
 - 場所 町コミュニティセンター
 - 講師 世界遺産課 副主幹 菅野紀子氏
 - 対象 小学生以上 (先着15人)
※低学年は保護者同伴
 - 参加料 1,000円 (保険料、昼食代を含む)
 - 申込方法 5月26日(火)までに問い合わせ先に電話で申し込んでください (定員になり次第受付終了)。
- ☎図書館



『おべんとう わすれてるよ』
 東川りえ/作
 マイクロマガジン社/刊



『ちいたの蒸気展』
 いちのへの蒸気展開催実行委員会/編・刊

おすすめの一冊

きょうは楽しい遠足の日。なのに、ちいたはおべんとうをわすれてしまった。「ちいた！おべんとうわすれてるよ～！」ママはおべんとうをとどけにいくけど、もう電車はえきを出たあと。それでもあきらめずに、ママはちいたをおいかけていて…。

「蒸気の時代、岩手県一戸町は全国の鉄道ファンにとって憧れの地であった」。2月に盛岡で開催された展示会では当時の写真やカンテラ・切符・制服の実物、歴代の駅弁掛け紙などが多数展示された。一戸機関区や鉄道員、戦時中の動員学生の写真なども収録された貴重な一冊。

イベントカレンダー

▷ 5月

- 10日 9:00～絵画教室 / 一般向け / 無料
- 13日(水)～26日(火) 絵画教室作品展
- 13日 水 13:00～カラオケ倶楽部 / 無料
- 15日 金 10:45～とことこおはなし会 / 乳幼児向け (地域子育て支援センターのびのび)
- 20日 水 13:30～童謡・唱歌を楽しむ会
- 23日 土 10:30～初心者向け歴史講座『末の松山について』 / 無料
- 24日 日 9:00～絵画教室 / 一般向け / 無料
- 27日 水 13:00～カラオケ倶楽部 / 無料
- 31日 日 9:00～図書館フィールドワーク in 西方寺毘沙門堂 / 小学生以上向け / 1000円

○5月休館日
 11月、18月、25月

▷ 6月

- 6日 土 10:30～としょかん映画会『ふるさと日本の昔ばなし チャグチャグ馬コ他』+馬の折り紙 / 幼児・児童向け / 無料
- 10日 水 13:00～カラオケ倶楽部 / 無料
- 14日 日 9:00～絵画教室 / 一般向け / 無料
- 17日 水 13:30～童謡・唱歌を楽しむ会
- 19日 金 10:45～とことこおはなし会 / 乳幼児向け (地域子育て支援センターのびのび)
- 24日 水 13:00～カラオケ倶楽部 / 無料
- 27日 土 10:30～初心者向け歴史講座『地域めぐりしたくなる歴史への扉』 / 無料
- 28日 日 9:00～絵画教室 / 一般向け / 無料
13:00～わわわのステージ / 無料

○6月休館日
 1月、8月、15月、22月、29月
 ※23日(火)～28日(日)は蔵書点検のため、図書館のみ休館

本格土器を自分の手で

まるっと里山プログラム
 超本格! 『ごしょの』の土器を作ろう (全2回)

本格的な縄文土器を作り、野焼きと土器の煮炊きが体験できる全2回のプログラムです。

- 講師 土器づくり名人 菊地逸夫氏
- 日時 ①土器の形をつくる 6月27日(土)、28日(日) 10:00～15:00 ※昼休憩1時間
②野焼き・土器で煮炊き体験 9月5日(土) 10:00～12:30 ※予備日：9月12日(土)
- 場所 御所野縄文博物館 体験工房、御所野縄文公園
- 料金 3,500円 ■定員 15人
- 対象 2回とも参加できる中学生以上の人
- 申込方法 5月23日(土)～6月26日(金)の間に問い合わせ先に電話で申し込んでください。



運動と農作業体験で元気な身体をつくろう!

農作業体験者募集!

5月末頃まで農作業体験者を募集しています。興味のある人は問い合わせ先に電話してください。

スイセン観察会を開催しました

4月19日にウォーキングイベントを開催し、32人の町民が参加しました。約3万5000株のスイセンが風に吹かれながら、青空の下に咲き誇っていました。



姉帯城の御城印販売中!

御所野縄文博物館のミュージアムショップでは姉帯城の御城印(1枚300円)を販売しています。



- 販売期間 割印夏バージョン：6月2日(火)～8月30日(日) ※御城印の販売は通年です ※割印は九戸城の御城印を持っている人対象です

History



御所野縄文博物館だより

☎御所野縄文博物館 ☎ 32-2652
 ○休館日 5/11月、18月、25月 6/1月、8月

運動あそび教室5月日程のお知らせ

年齢に応じたさまざまな運動あそびを行います。

- 日時 5月17日(日) 10:30～11:30
- 場所 町コミュニティセンターホール
- 対象 幼児～小学生低学年 ■料金 1人1回300円
- 申込方法 問い合わせ先に電話で申し込んでください。

運動公園のホームページが新しくなりました

施設の予約状況やイベント情報などを発信しています。ぜひご活用ください。



Sports

運動公園だより

☎NPOスポーツウェルネス ☎ 33-4444 FAX 33-4445
 開館 9:00～21:00



○先月号の答え
ディグレ

- 先月号の当選者 (応募7通)
①チューリップさん ②スイセンさん
③春の小川さん

○今月号のクイズ

- Q1 岩手広告美術展一般ポスターの部で賞を受賞した柴田外男さんの作品名は『今、行くべきところ〇〇』？(ヒント2券)
Q2 広報に関する意見感想、取り上げてほしい人・内容などありましたらお聞かせください。

○応募方法

ハガキ、またはメールに①クイズの答え、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥ペンネーム(あれば)を記入し、下記あて先へご応募ください。
右記QRコードをスキャンして、町ホームページからも応募できます。



○あて先

〒028-5311
一戸町高善寺字大川鉢 24-9
広報クイズ係 (5月31日締切)
メール: kouhou@town.ichinohe.iwate.jp

人の動き 3月末(前月比)

人口	10,183人 (-56)
男性	4,937人 (-29)
女性	5,246人 (-27)
世帯数	5,287世帯 (-10)
転入	42人
転出	68人
出生	0人
死亡	29人

火災・救急 (3月分)

火災	0件
救急	42件

交通事故 (3月分)

発生件数	10件
人身事故	0件(死者0人)
物損事故	10件

ごみの量 3月分(前年同月比)

総排出量	253.9トン (+24.3トン)
1人1日	436グラム (+80グラム)

こちら町長室 message from the mayor



4月15日までの10日間、『春の交通安全運動』が全国で展開され、児童生徒の安全確保、ながらスマホの根絶、歩行者優先の安全運転意識の向上などが重点的に取り組まれたところです。
また、新聞・テレビなどで頻繁に報道されましたが、4月1日からは自転車の交通違反に対する『青切符制度』が始まっています。
自動車同様に、自転車もまた、公共交通機能が弱い地域では、とても大切な移動手段となっています。しかし自転車は、長く自動車から守られるべき存在でしたが、近年は、加害側に立

交通死亡事故ゼロ3年の偉業

つケースがみられます。自身と他の歩行者を守るためにも、十分に気を付けて自転車に乗っていただきたいと思えます。
さて、4月10日は『交通安全事故ゼロを目指す日』でしたが、これより先に、当町は『交通死亡事故ゼロ3年』を3月28日に達成し、二戸警察署長より賞賛状をいただいたところでです。
「この快挙は、日頃の広報とパトロール、道路横断での指導、登下校時の見守りなどにご協力いただく交通指導隊、防犯隊、スクールガードなどの多くの関係者のご協力の上に成り立っている」との

言葉もございました。当町を縦断する国道4号は、通勤や営業、物流そして観光などでの往来がとても多く、何より28キロメートルもの距離があることから、その環境下での死亡事故ゼロは考えられない、と言われます。
このような偉業は、町民一人ひとりの日頃の心掛けに加え、多くのボランティアの皆さまの功績だということを改めて確認したところでです。
これからも安全安心な、幸せな時間が長く続くよう、取り組んでまいりましょう。

皆さんからのおたより Letter

☆「ライブする」という表現は英単語の「掘る(Dig)」からできたみたいです。一戸の魅力をライブしてもらえたら嬉しいですね。
二戸市 60代女性

4月からカシオペアFM新番組組なんですか？より多くの人たちが情報を耳にすればいいですね。私も聞いてみます。
二戸市 60代女性
☆カシオペアFMの新番組が一戸の魅力をたくさんの人に広げるきっかけになれば嬉しいですね。

いちのへまちめぐりミュージアム cultural property

平安時代から続く馬産地 一戸

世界遺産課 中村明央 32-2652



馬ホームがあった大正の頃の駅構内
1998(平成10)年 上山國雄「中山村史」より

馬専用のホームもありました。中山より人口がはるかに多い一戸より、中山に早く駅がつくられたことから、軍馬を輸送することが当時とても重要であったことが分かります。

平安時代後期から戦国時代にかけて、岩手県北部から青森県の太平洋側の地域は糠部郡と呼ばれていました。糠部郡の特産品は馬で、現在も残る一戸、二戸、三戸などの特徴的な「一戸」(馬を飼う牧・牧村)という地名は、このとき付けられたと考えられています。
江戸時代になると、一戸は奥州街道の宿駅、物資の集散地として発展し、福岡町(現二戸市)をしのぐ豪商も生まれ、商業の発達とともに、手工業も起こっていました。奥州街道沿いの大きな集落である一戸宿と沼宮内宿の距離は約32と長く、坂が多い難所であったため1日で歩き通すことができない人もいたようです。そのため、中山(現旧中山)と火行にも、旅人の宿泊や荷物運搬の人馬を中継ぎする要所(宿駅)がありました。中山と火行は、宿駅として重要な集落であったため、合わせて30戸、170、180人もの人が暮らしており、周辺(小繋、摺糠、

馬羽松、宇別など)には馬を育てるための広大な草場が整備されていたようです。
1891(明治24)年、馬産地として長い歴史を持つ中山地域に、陸軍の軍馬育成所補充部が開設されました。軍馬補充部は、季節によっては地域住民を100人近くも雇用することがあり、農家の貴重な現金収入となり歓迎されたといわれています。
鉄道は1891(明治24)年に盛岡―青森間が開通し、一戸町内の駅は1891(明治24)年に中山駅(改称経歴 1915年・中山駅↓奥中山駅、2002年・中山駅↓奥中山高原駅)と小鳥谷駅、1893(明治26)年に一戸駅、1909(明治42)年に小繋駅が開設されました。
中山は軍馬育成所補充部が開設されるとともに重要な軍馬生産地となりました。中山駅から毎年春と晩秋に大量の軍馬が出荷され(最大で年1150頭)、中山駅には馬専用のホームもありました。中山より人口がはるかに多い一戸より、中山に早く駅がつくられたことから、軍馬を輸送することが当時とても重要であったことが分かります。

文芸 tanka・haiku

3月短歌・俳句会 一戸町文化協会短歌・俳句部会 場所・一戸地区センター

俳句

師の指揮に久し歌ふや新年会
満開のまんざく空の青透かし
産直に見つけて笑顔ふきのとう
やどりの目立つ青空春近し
筆跡の流るる如し正月礼
土手の陽に星座のごとく露の臺
そこかしこおおいぬぶりの青ありて
遠藤 みき

歌友らの今年も集い雛祭り
心おきなく語る幸せ
コーヒー店ふっと立ち止まり髪を上げ
ちよっと考え歩き出す女
生活の共に在りせばいくばくぞ
三十路に逝きし父母の教えの
春浅き午後の日浴みて散歩する
土手の芝草しめり沈むも
初雪の匂してきて降り出すと
雪国の子ら教えてくれる
水鳥にあまた囲まれゆるやかに
流れただよ白鳥一羽
水仙の香りただよひ瑞々し
長き冬から春の足音
かつての日薄氷踏みて遊びけり
パリンと割れる音の楽しく
中館 木実

短歌

柴田サヨ子
遠藤 みき
東山 智子
遠藤 道子
柴田のぞみ
初森 テル
大矢 トモ
中館 木実

お知らせ

「令和8年5月下旬(予定)に気象の警報などが大きく変わります」

大雨などによる災害の危険が迫っているとき、市町村が発表する避難情報や、気象台が発表する気象警報などを参考に、住民の皆様は避難行動をとる必要があります。

気象庁は、避難行動の判断をより一層支援するため、令和8年5月下旬より新しい情報の運用を開始します。



ホームページ

新しい情報は次の通りです。

- ① 対象災害(河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮)ごとになります。
 - ② 危険警報や河川氾濫の特別警報が新設されます。
 - ③ 名称に警戒レベルがつかます。
- 詳細は、気象庁ホームページの特設ページをご覧ください。

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地の崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の打ち上げによる浸水	(警戒レベルごとに) 住民がとるべき行動
警戒レベル 5相当	氾濫特別警報	大雨特別警報	土砂災害特別警報	高潮特別警報	命の危険、直ちに安全確保
警戒レベル4までに危険な場所からかならず避難!					
警戒レベル 4相当	氾濫危険警報	大雨危険警報	土砂災害危険警報	高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	氾濫警報	大雨警報	土砂災害警報	高潮警報	避難に時間を有する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	氾濫注意報	大雨注意報	土砂災害注意報	高潮注意報	避難行動確認
警戒レベル 1	早期注意情報				災害の心構えを高める

+ 一戸町と近隣市町村の休日当番医

■休日当番歯科医 一 診察時間 9:00 ~ 12:00 ■休日急患当番医 一 診察時間 9:00 ~ 17:00

月日	当番歯科医 (管内)	休日当番医 (管内)	休日当番医 (岩手町など)
5/10(日)	ぽっぽ歯科クリニック ☎ 31-1182	松井内科医院 ☎ 33-2201	八角病院 ☎ 019-682-0201 八幡平市立病院 ☎ 0195-76-3111
17(日)	沢藤歯科医院 ☎ 25-4002	菅クリニック ☎ 23-7311	佐藤整形外科クリニック ☎ 0195-68-7240
24(日)	奥中山高原歯科クリニック ☎ 35-2951	いちのへ内科クリニック ☎ 33-2701	八幡平市立病院 ☎ 0195-76-3111
31(日)	森川歯科医院 ☎ 23-6361	カシオペア医院 ☎ 23-3331	八幡平市立病院 ☎ 0195-76-3111
6/7(日)	堀米歯科医院 ☎ 46-2927	二戸クリニック ☎ 25-5700	岩手沼宮内クリニック ☎ 0195-61-2025
14(日)	沢藤歯科医院 ☎ 25-4002	すがわら消化器内科クリニック ☎ 23-2879	八角病院 ☎ 019-682-0201 八幡平市立病院 ☎ 0195-76-3111
21(日)	渡辺歯科医院 ☎ 23-2052	ほそかわ小児科クリニック ☎ 26-8100	沼宮内地域医療センター ☎ 0195-62-2511

お知らせ

手づくり市&にぎわいごちそう広場

奥中山高原スキー場ゲレンデとカシオペアホールを会場に、県内外からハンドメイド商品を取り扱う約30店舗が集まる「手づくり市」と、キッチンカーやフードブース、ステージ披露が楽しめる「にぎわいごちそう広場」を同時開催します。見て・食べて・楽しめる企画が勢揃いします。

※小雨決行。強風・荒天時は中止の場合あり。

■日時 5月31日(日) 10:00 ~ 15:00

■開催場所 奥中山高原スキー場ゲレンデ・カシオペアホール

☎ 0195-35-3131

募集

電気柵設置講習会 参加募集のお知らせ

鳥獣被害対策のための電気柵設置講習会を開催します。獣に唯一痛みを与えて追い払う効果のある電気柵の正しい設置方法を実践方式で学びましょう。

■日時 5月17日(日) 9:00 ~ 14:00

■開催場所 町民農園サンビレッジガーデン (総合運動公園隣接)

■料金 無料
■定員 20人

■申込期限 5月14日(木)まで

■申込方法 期限までに問い合わせ先に電話または申し込みフォームからお申し込みください。

☎ 33-4854



申込フォーム

町民割引券について

奥中山高原温泉と来田保養センターでは、町民の皆さんが利用しやすいよう、割引券を発行します。点線で切り取り、フロントなどに提出すれば右記の割引が受けられますので、ぜひご利用ください。



☎ 奥中山高原・来田温泉 町民割引券 (広報5月号—R8.6.30まで有効)

この券で、下記の温泉の日帰り入浴(入浴のみ)を割引金額でご利用できます。
※本券1枚につき1人有効。

- 煌星の湯・朝朱の湯 中学生以上 100円引き
- 来田保養センター 休館日 第1週、第3週火曜日 中学生以上 50円引き

☎ 奥中山高原・来田温泉 町民割引券 (広報5月号—R8.6.30まで有効)

この券で、下記の温泉の日帰り入浴(入浴のみ)を割引金額でご利用できます。
※本券1枚につき1人有効。

- 煌星の湯・朝朱の湯 中学生以上 100円引き
- 来田保養センター 休館日 第1週、第3週火曜日 中学生以上 50円引き

information

お知らせ

皆さんの暮らしに役立つさまざまな情報をお届けします。

一戸町役場

☎ 0195-33-2111 (代表)

〒 028-5311

一戸町高善寺字大川鉢 24-9

https://www.town.ichinohe.iwate.jp



募集

介護労働講習(実務者研修を含む)の受講生を募集します

国家資格の受験要件である『実務者研修』を修了できます。

■対象 介護分野へ就職を希望する雇用保険受給資格者

■受講期間 6月16日(火)~11月25日(木)まで

■場所
・盛岡市総合福祉センター(盛岡市若園町2-2)
・盛岡市勤労福祉会館(盛岡市紺屋町2-9)

■定員 40人

■費用 無料(ただし、テキスト代などの諸経費は自己負担)

■申込方法 5月29日(金)までに、管轄のハローワーク訓練窓口に相談および申し込みください。

☎ 019-652-9036

ディグレ! 一戸町!

番組の放送がスタートしてはや1カ月。まだまだ手探りですが、楽しく番組制作を進めています。

さて、4月の番組テーマは『まちづくり』。このテーマを掲げたのは2月28日に萬代館で開催された『みんなであつくりう!』いちのへまち「シンポジウム」に参加したことがきっかけでした。まずは初回放送。ゲストは(一社)グリーンビレッジ・代表理事の柴田真由美さんと、(株)柴田産業の山火教平さん。



柴田真由美さん(左)と山火教平さん(右)

(一社)グリーンビレッジは木材業を行っている(株)柴田産業から一歩飛び出して「一戸町のまちづくりをお手伝い」する法人。現在、進行中の事業は「宿泊施設の運営」。旧JRAパートナー寮をリノベーションし、簡易宿泊施設として運営予定です。完成は2026年9月頃の見込みということでした。

お二人とも一戸での暮らしを楽しみながら、まちづくりにも積極的に取り組んでいます。そんなお二人が注目している人物が第2回放送のゲスト。一戸町役場にお勤めの來田忍さん。地域整備課で主に住宅に関する事業をご担当されています。

町でも課題となっている空き家問題やいわ



來田忍さん

てSDGsカフェへの参加など、民間や地元高校生を交えた取り組みが印象的でした。

そして第3回放送のゲストは2月のシンポジウムにも参加していたまべちぶらつつ47の田頭明子さん、また団体パートナーである垂里さん。まべちぶらつつ47は地域の方々と連携した地域交流拠点、中長期的には馬淵川景観まちづくりを目指しています。具体的には

田頭明子さん(左)

萬代館近隣の空き家を活用して地域交流施設・スマート宿の整備を進めています。まべちぶらつつ47の供用開始は8月の予定です。2026年以降、一戸町がさらに面白くなっていきそうです。今後も定期的なまちづくりに関する事業を取材していきたいと思えます。引き続きお楽しみに!

【番組情報】

■放送局

カシオペアFM

■番組名

ディグレ! 一戸町!

■放送日時

毎週木曜 13:00 ~ 13:30

※本放送の翌週同時刻が再放送

●放送後はカシオペアFMの

YouTubeに番組音声を投稿!

ぜひお聞きください。

●番組公式Instagramも併せてご

覧ください



YouTube



Instagram

編集後記

▼新年度がスタートしてはや1カ月。慌ただしさの中にも、少しずつ日常のリズムを取り戻してきた気がします。▼ちびっこ一日警察署長の宇部さんは、カメラを向けるたびに敬礼のポーズ。ぱっちり決めてくれる姿がとてもかわいらしく、一生懸命に役目を果たそうとする姿に、現場も温かな雰囲気になりました。

(安ヶ平)

▼春の陽気に誘われて、休日はずっと寝をしてしまいます。広報の取材では、スイセンロードを散策する機会があり、春の散歩はとも気持ちのいいものだと思えました。桜も見ごろな場所も増え、春は心地のいい季節だと感じています。▼ゴールデンウィークがあり、様々なイベントに取材に行くと思います。今まで参加できなかったイベントに参加できることを楽しみにしています。(口影)

●今月号の広報いちのへ印刷経費は1部70円(税込)です



広報いちのへは、環境に配慮し、植物油インキとFSC森林認証紙を使用しています。



一戸町公式LINEアカウント登録は、こちらから

